

(参考)

福島市公共施設の 戦略的再編整備検討委員会

【第2回会議】

と き 平成30年 7月 2日(月)

ところ 福島市役所4階 庁議室

3 再編整備の基本的な方向性について

①再編整備のコンセプトについて

◆委員からのご意見

- 将来的な市のグランドデザインとして「福島らしさ」が必要
- 歴史や風景を含めた街並みの形成が必要
- 人・コミュニティをつくり育む場、文化を熟成・発信する場が必要
- 商業機能の維持・強化による県都として風格ある街並みの形成が必要
- 震災の経験を踏まえ、市民の生命・財産を守る安全・安心な都市機能が必要
- 街のヴィジョンとして、市民価値の向上をどのように図っていくかの議論が必要
- 詳細なデータや現状分析に基づく議論と従来の発想にとらわれない思考が必要

◆市の考え方

- 公共施設を将来にわたり持続可能な量と質への転換
- 県都として高次の都市機能を集積し、県北全域の活性化と定住交流の拠点であるとともに文化的環境と次世代環境を備えたグレードの高いまちづくりを推進

②コンベンション機能について

◆委員からのご意見

- 駅東口に県内外の人を集客するコンベンション機能を配置すべき
- 公会堂、市民会館、図書館、中央学習センターの複合化により配置すべき
- 民間活力と連携する場合、スケジュールを踏まえた判断が必要
- JRとの連携や、民間施設との連携整備を念頭に置くべき
- 県外、県内、市内の交通の拠点化による集客機能が重要
- 「福島の顔」として地域活性化の起爆剤となる目玉施設を配置すべき

②コンベンション機能について

◆市の考え方

①賑わい創出、中心市街地活性化、交流人口拡大等の視点から
駅前地区へのコンベンション機能の強化が必要

②施設機能の整備にあたっては、

・国内外の各種団体や学会等の比較的大規模な会議等の受け皿としての機能や市民利用も含めたホールとしての機能等、ニーズに合った機能整備による稼働率の向上を検討

・公会堂・市民会館が担うホール・会議室機能の再編を検討

・民間活力の活用の検討も必要

（官が全ての施設・機能整備を担うのは困難）

※駅前再開発事業について民間との意見交換も必要

③コンベンション機能施設の運営について

・官民連携などによる、効率的な管理運営方法の検討

・整備施設の効果的な活用のため、民間・商工団体等と連携した運用を検討

③公会堂について

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 市民会館、図書館、中央学習センターとの集約によりコンベンション施設に複合化すべき
- 複合施設の設置を優先した上で、廃館とした跡地に市民ギャラリーや写真美術館等の文化的施設を集約した市立美術館の設置を検討

◆市の考え方

他の施設との統合・複合化による駅前地区へのコンベンション機能への再編を検討

④市民会館について

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 駅前のコンベンション機能に再編すべき
- 市役所新庁舎西棟に再編すべき
- 中央学習センター、図書館、アオウゼ等を集約した新たな複合施設の設置が望ましい

◆市の考え方

- ①駅前地区へのコンベンション機能強化による再編を検討
- ②建設延期中の市役所新庁舎西棟へ再編を検討

⑤図書館本館について

◆委員からのご意見

- 駅前のコンベンション機能に再編すべき
- 駅前からある程度距離が離れるとしても、市有地に駐車スペースを確保した配置が必要
- 市民会館、中央学習センター、図書館等を集約した新たな複合施設の設置が望ましい
- 面積・収蔵能力とも現有施設以上が必要
- 中央館の機能を持ちつつ、2つの分館との棲み分けが必要

◆市の考え方

- ①他の施設との統合・複合化を検討
- ②機能配置するにあたっては、望ましい立地場所を検討

⑥中央学習センターについて

◆委員からのご意見

- 稼働率が50%を下回っており、市民のニーズとの乖離又は利便性に課題があると考えられる
- 重要な生涯教育の場であり、最優先に**現在地(市中央)**に整備すべき
- 駅前**のコンベンション機能に再編すべき
- 市民会館、図書館、アオウゼ等を**集約した新たな複合施設**の設置が望ましい

◆市の考え方

- ①他の施設との**統合・複合化**を検討
- ②機能配置するにあたっては、望ましい立地場所を検討

⑦建設延期中の市役所本庁舎西棟について

◆委員からのご意見

- 議会機能と防災機能だけでなく、市民会館機能を複合すべき
- 公文書館の機能を踏まえた「行政資料」を扱う図書館分館が必要
- 市民利用施設利用者の駐車場利用を想定した収容台数について十分な検討を

◆市の考え方

- ①市民会館が担う**会議室機能**の再編を検討
- ②他の老朽施設が担う機能のうち、西棟に予定する市民利用機能に**統合・複合化**できるものを検討

⑧福島市消防本部/福島消防署について

◆委員からのご意見

- 現庁舎は敷地も含め狭隘であるため、防災施設の充実化が極めて重要
- 市役所新庁舎西棟予定地に集約すべきではない(避難所と分離すべき)

◆市の考え方

- ①消防力適正配置等調査を踏まえ、再編整備に伴う跡地活用も含め
適地を検討
 - ・現場到着時間や、カバーする圏域を考慮
 - ・望ましい敷地条件を考慮(幹線道路沿い、大型車両の出入庫等)
 - ・他署所の将来的な配置のあり方を考慮
 - ・消防業務の広域連携を考慮
- ②必要な施設機能(通信指令機能の確保、職員体制等)を考慮

⑨中心市街地の他の公共施設について

◆市の考え方

○下記の施設については、予防保全による建物性能の維持と安全性の確保を図ることにより、長期利用が期待されることから当面は建て替えの対象外とするが、新たな公共施設の整備にあたっては、当該施設の有する機能との棲み分けが必要

【施設名称】

- ・音楽堂/働く婦人の家/勤労青少年ホーム
- ・古関裕而記念館
- ・福島テルサ
- ・産業交流プラザ
- ・こむこむ
- ・アクティブシニアセンター・アオウゼ(民間保有)

【施設機能】

- 音楽ホール・会議室・体育室
- 展示室・サロン
- ホール・会議室
- 展示室・会議室・(図書館)
- ホール・会議室・(図書館)
- 会議室・自習スペース・多目的ホール

⑩ サッカースタジアムについて

◆ 委員からのご意見

- 現在の入場者数をどう分析するか、効果、課題がある
- あづま総合運動公園の改修状況などを踏まえた検討も必要

◆ 市の考え方

- ①スポーツ文化向上、賑わい創出、交流人口拡大等への効果は期待される
- ②稼働率や採算性の観点から新規施設の整備か既存施設の改修かの検討が必要
- ③ハードのみならず、ファン拡大、観客動員数増加への取組が重要
➡実施主体や運営方法、整備・運営コストに課題

⑪福島駅新東西自由通路について

◆委員からのご意見

○駅東西の活性化に資するが、事業規模が大きいため十分な調査検討が必要

◆市の考え方

①駅周辺の回遊性強化のため重要な機能

②市だけではなく、民間事業者との役割分担が必要

➡駅東口・西口の機能配置を見極めた上での検討が必要